

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170503189		
法人名	社会福祉法人 愛全会		
事業所名	アビターレグループホーム ミラノ館		
所在地	札幌市豊平区平岸2条2丁目1-1		
自己評価作成日	令和5年4月25日(火)	評価結果市町村受理日	令和5年7月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_khon=true&JigyosyoCd=0170503189-00&ServiceCd=320

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

高齢者福祉総合施設の5階最上階に併設されている3ユニットのグループホームです。閑静な住宅街に立地しており、地下鉄駅から徒歩圏内と交通の利便性に恵まれております。ユニットからは藻岩山や手稲山の四季の風景を感じられ、札幌の街並みの夜景や豊平川の花火大会の鑑賞が出来る事も特長の一つです。共有スペースも多く設け、カラオケ室でレクリエーションを行い喫茶コーナーやご家族様と過ごして頂けるファミリーダイニングの提供などを行い楽しんで頂いております。町内会の一員として地域の商業施設の利用、イベントに積極的に参加、交流し情報を発信できるグループホームを目指しております。運営推進会議への参加や隣接しいる特別養護老人ホーム、アネックスで開催されているオレンジカフェ、地域食堂等をご利用頂き情報交換や交流に努めています。職員は入居者様の尊厳を支え楽しく生きがいのある時間を過ごして頂ける様に、日々事業者内外の研修に参加し自己とチームの研鑽に努めています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401		
訪問調査日	令和5年6月28日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ご家族様や入居者様のご希望を聞きながら、その方々が自分らしく尊厳のある生活が出来るようにケアプランを作成し職員全体で共有し実践する事に努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍が続き地域への参加は出来ておりませんでした。感染予防に努め、従来通り地域の皆様と交流が出来る様に努めて参ります。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ前は地域の中高生の職場体験や運営推進会議を通して認知症の理解や支援方法を発信しておりますが、現在はコロナ禍で行う事が出来ておりません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	例年二か月に一度、町内会会長や婦人部長、地域包括職員、入居者様とご家族様等に参加して頂いておりますが、現在は皆様からコメントを頂き書面での開催になっており後日議事まとめ情報発信を行っております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	札幌市の連絡会は実践されておませんが豊平区の連絡会議にはファックスにて情報共有を行っております。また、市の介護保険課には毎月の利用状況の報告を行っております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会が中心となり研修を行い、カンファレンス等で身体拘束について理解をマニュアルに基づいてケアを行っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束適正化委員会が中心となり研修を行いスタッフ全員が理解し虐待防止に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	コロナ禍で研修会を行う事は出来ませんでした。資料を作成し職員に理解して頂けるよう努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は相談員が説明し管理者も立ち合い契約書に添って契約内容や重要事項の説明させて頂いております。入居者様の身体面や心理面、ご家族様の状況など不安や疑問を伺い納得されたうえでサインを頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置やご家族様アンケートの実施で意見や要望、不安点等を取り入れ反映させています。定期的にお電話で近況を報告しご本人様やご家族様のご意見を伺い反映が出来よう努めております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見を伺い統括管理者に相談し毎月管理者連絡会議にて意見交換を行い業務改善に努めています。年2回人事考課を行い面談で職員の意見を伺う機会を設けております。ストレスチェックもを行い環境改善に努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回上司との面談や自己申告書で職員の目標や得意不得意の自己覚知の確認行っております。資格所得後は手当てが支給され向上心が持てるよう努めています。また職場環境の改善や労働時間の見直しにも取り組んでおります。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員でケアの得意不得意があり都度サポートし不安の内容に努めています。コロナ禍で研修会は行っておりませんがYouTubeを活用し研修やトレーニングを行いケアも向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍が続き札幌市や豊平区の管理者連絡会議は行われておりませんがファックスにて情報共有を行い情報交換も行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の事前訪問や施設見学後の面談でご本人やご家族様の要望や不安等を伺い安心して入居して頂ける様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が不安に思っている事やお困りの事、要望等を出る限り細やかな情報を初期面談の中で伺い可能な限り支援をさせて頂く事をお話しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様やご家族様の思いや心身状態を伺い必要とされるサービスの利用が受けられるように初期ケアプランの作成に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の主役はご本人様である事を職員一同が常に認識し、その方のペースに合わせながら自立し、日常生活が送れるよう努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍でご家族様とお会い出来ない為、職員はご家族様の思いに寄り添いながら日々様子をお電話やお便りでお伝えしております。また、ご相談をしながら支援に努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍でご家族様や親戚の方々とお会いする事は出来ませんが、お電話でのやり取りで関係性が続くように支援に努めております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者とコミュニケーションが難しい方には職員が間に入り、孤立されないように配慮した環境作りに努めております。また日々の生活の中で行事やレクリエーションで入居者様同士で関わりが持てる様努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や退去された方には、その後の様子を確認しご家族様にご連絡を入れる等、関係を継続しております。また各関係機関への紹介も行ってあります。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの過去や現在の生活状況を踏まえてアセスメントを行い日々の関わりで様子や言動を観察し思いを伝えられない時は思いを発する事が出来るよう努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴や生活環境、サービス利用経過などをご本人様やご家族様、関係者にお話を伺い把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で排泄、更衣、整容等の出来る事、難しい事等をアセスメントを行い現状の把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスでモニタリングや評価を行い、ご本人やご家族様の要望、主治医、看護師の意見を伺いながら介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに添って日々の生活記録の作成を行っており、行動や言動、気付いた事を日々の申し送りやカンファレンスで情報共有しケアプランの見直しにも活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	基本、受診や入院等はご家族様での対応となっておりますがご本人様やご家族様の状況に応じて可能な限り施設の車両を利用し職員が同行しております。訪問歯科、往診なども必要に応じて利用しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍で地域の方々とのふれあいはありませんがコロナが落ち着いた時にはお祭りや公園、スーパーを利用し楽しく過ごせるよう支援して参ります。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様やご家族様の希望に添ったかかりつけ医を選択して頂いております。緊急時の往診や個々の病状に合わせた他医療機関との連携の支援も行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	4月から訪問看護愛全に移行し週に1度来訪され日々の入居者様の様子を伝えおります。昼夜対応も行っているため急変した時に連絡して受診が必要などの助言等頂き入居者様の支援に努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはご本人様の情報を医療機関に提供し早期に退院が出来る様、その都度ご家族様や看護師、ソーシャルワーカーと情報交換を行っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に書面や相談員からご家族様のお話し重症化した場合には事業所が対応して最大のケアについて説明しています。重度化した場合でも協力機関と連携をとり、ご本人様、ご家族様にとって最善の方法を話し合っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応が出来る様に定期的に研修を行い技術や知識を身につけています。3ユニットで連携し事業所緊急連絡網を作成し対応しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎日の防火点検、年2回に昼夜を想定した避難訓練、風水害の避難訓練を行っています。カセットコンロ、ランタン、食料や飲料水の備蓄して災害に備えています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の自尊心の維持が出来る様、尊厳に配慮した声掛けや羞恥心に細心の配慮をしたケアを心がけて対応を行っております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自ら決定をしやすい声掛けを行っております。意思疎通が難しい時でもサインや行動、表情等を見逃す事無く思いや希望に添ったケア対応を行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご自身の生活ペース合わせて日々の体調を確認を考慮しご希望に添えるようケアを行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様とその日の服装を確認し好みの服装をして頂きお洒落を楽しんで頂けるよう支援に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	コロナ禍で一緒に食事をしたり調理や後片付け等は行えませんでした。コロナ落ち着きましたらまた、再開し一緒に行事のメニューを考え季節を感じられる献立を考え談笑しながら楽しく食事が出来る様努めて参ります。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による献立を提供しております。水分量が少ない時はゼリーを作り提供し管理栄養士や主治医と相談しながらお一人お一人食事形態や食べやすい器に変える等支援を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご本人様の状態に合わせて歯磨きのお手伝いを行い月に一度、訪問歯科を利用して口腔内を清潔にし歯科主治医からのお手伝いの仕方の指示も頂いております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を確認し個々の生活リズムや表情を把握して尊厳に配慮した声掛け行って難しい方も出来る限りトイレにお誘いし排泄が出来る様取り組み支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分不足にならないよう日々水分量を確認しております。便秘しやすい入居者様に関しては主治医に相談し下剤の調整も行い毎日体操に参加して頂くよう取り組んでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	毎日入浴が可能でご本人様の希望も取り入れ、ご本人様のタイミングに合わせてゆっくり入浴を楽しんで頂けるよう支援を行っております。また脱衣所と浴室の室温差に気を付けヒートショックにならぬよう注意しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や生活習慣に基づいて安心して休息出来る環境作りを行っております。夜間は良眠が出来る様に日中の活動を通して生活リズムが整うよう配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	副作用、用法、用量については居宅療養管理指導の下、医師や薬剤師の指導を受け職員間で情報共有しております。服薬時には職員2名で確認後、ご本人様とも確認して内服をして頂いております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野を把握し台所仕事、掃除、袋たたみ等入居者様同士と談笑しながら楽しくお手伝いをして頂いております。天気の良い日はテラスでランチを行い気分転換も行っていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で外出や面会が出来ない為3ユニット合同で夏まつりを行い節分時は施設長が鬼になってユニットを回り豆まきを行い工夫を行いながら季節を感じて頂いております。また3月から月に1度の面会も可能になり外出が出来るようになりましたら支援して参ります。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣い制が廃止になっておりますが、お金を所持出来る入居者様は売店で買い物をし、お金が使える事の満足感を得られるように支援を行っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ユニット内の電話は使用ができ希望がある時はご家族様に電話を掛けております。携帯電話の持参方には充電や履歴を確認し大切な関係維持が出来る様支援を行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の希望を伺いお好きなテレビ番組や録画した歌番組を流し季節に合わせた飾り物を入居者様と一緒に飾り季節感を感じて頂いております。業務中は入居者様に不快な音や発する声の大きさに注意し入居者様が落ち着いて過ごして頂けるよう配慮を行っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下に椅子やテーブルを置き散歩の途中で休憩しながら外を眺めたり、他ユニットの入居者様と一緒に談笑出来る様に工夫を行っております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご家族様と相談をしながらご本人様が使い慣れた家具や椅子等を持って来て頂き自宅で過ごされていた雰囲気作り工夫して居心地の良い空間作りに努めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	わかる事や出来る事に依じてユニット内に見やすい時計や日めくりを設置し居室内やトイレ等で転倒されないよう環境整備を行い安全で自立した生活が送れるよう工夫を行っております。		